

## ◆ 開催概要

日時：11月9日（水） 18:30～21:00

場所：金浜老人福祉センター 出席者：検討会メンバー14名

## まちづくりの方針について出た主な意見

まちづくりの方針については、2班で意見を出し合った結果、大きく以下の3つの方針に意見の集約、共有が図られました。

## 津波に強いまちづくり

- ・津波の来ない安全なまち ・国道45号を嵩上げする ・水門の遠隔操作
- ・国道を防潮堤と同じぐらいの高さにしてはどうか ・国道を堤防の上に通してはどうか
- ・二線堤となる道路の整備（市道を嵩上げ） ・二線堤の背後地を盛土して可住地を確保
- ・津軽石川の両側の堤防を嵩上げ ・津軽石川の水門のあり方を撤去も含めて検討すべき
- ・避難路の整備 ・安全な場所を通れる避難路の確保
- ・安全な通学路の確保 ・徒歩だけでなく車で避難できる幅員を持った避難路の整備
- ・緊急用の避難シェルターとして、消防屯所や地域福祉センターのような施設を整備
- ・災害時の水に困らないように、地区内に井戸が2～3箇所あると良い

## 安全・安心で快適なまちづくり

- ・市施工での区画整理事業による宅地整備（安全と居住性の確保）
- ・安全が確保されるのであれば従前の土地に居住したい
- ・盛土などをしてできるだけ従前の居住地で暮らしたい
- ・津波の心配がない高台に移転し、安全・安心な生活を送りたい
- ・高台に移転する場合は、移転先の土地の所有権を持てるようにしてほしい
- ・現在の所有地と移転地を「等価交換」できるようにしてほしい
- ・高台移転に適した土地が不足している
- ・被災者がみんな同じ条件でスタートできるようにしてほしい
- ・自力での住宅再建が困難な住民にも配慮して、公営住宅の整備を進めてほしい
- ・高齢者にも配慮し、低層の公営住宅を整備してほしい
- ・仮設住宅の期限もあるので、公営住宅の整備を進めるべき
- ・ペットと一緒に暮らせる公営住宅の整備

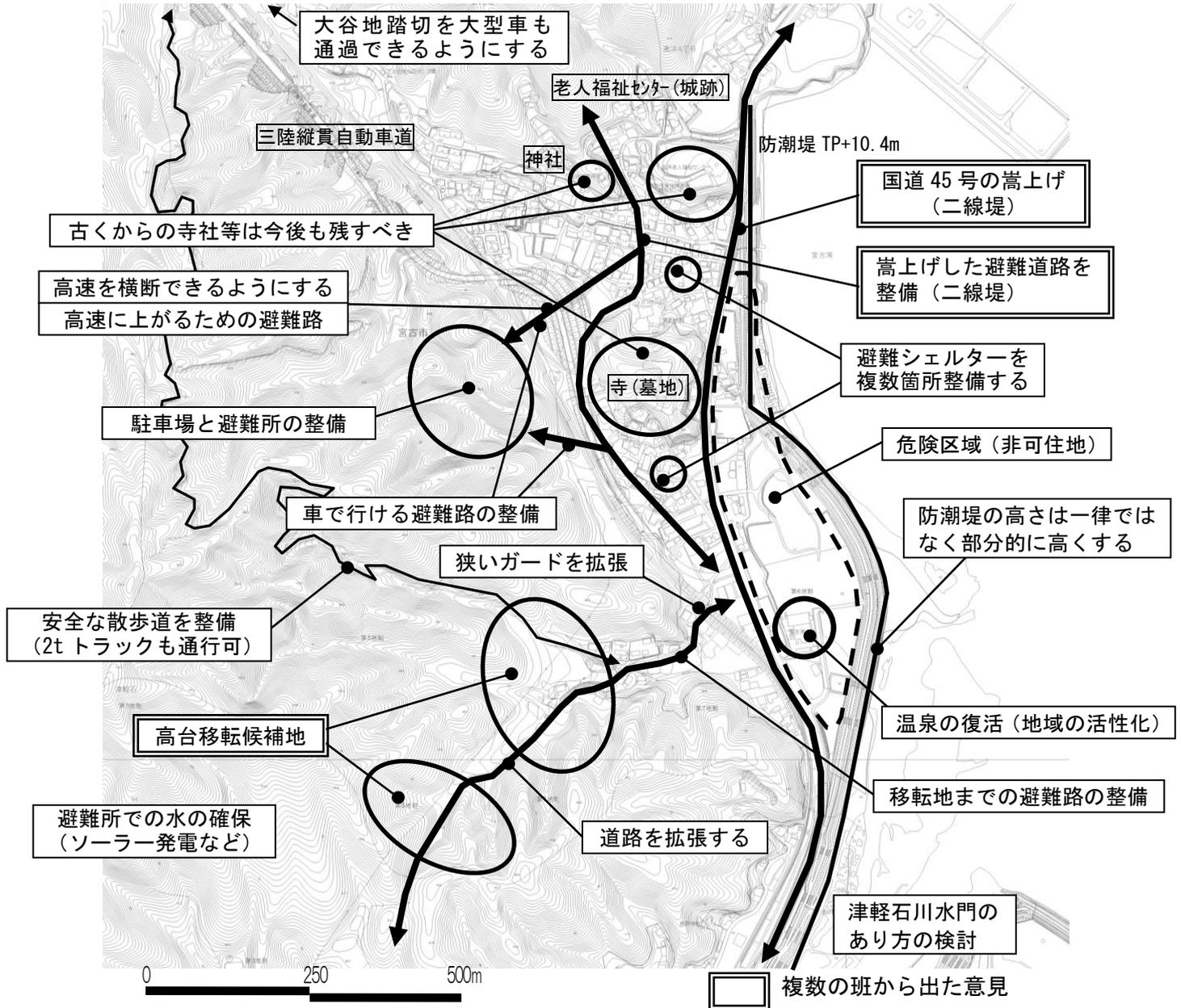
## 楽しく暮らせるにぎわいのあるまちづくり

- ・3月11日以前の明るい元気のある金浜をつくろう
- ・運動公園など老後の生活を楽しむことができる施設を整備してほしい
- ・公園の中に津波記念館を整備することも考えられる
- ・温泉施設（マース）を復活させてほしい ・温泉は地域の活性化にもつながる
- ・あさり堀り用の駐車場を整備 ・水産のまちづくり
- ・コミュニティセンターを整備してほしい
- ・漁業振興に向けて水産物を販売する市場的な施設の整備
- ・たくさんの企業が進出して雇用が生まれるまち
- ・震災前にあった企業が何社戻ってくるのか
- ・林業のための道路とトンネルの整備（JR）



## 用地別の土地利用の方針について出た主な意見

用地別の土地利用の方針について、2班で意見を出し合った結果、以下の図に示すような意見が挙げられました。特に、防潮堤機能を持つ国道・避難道路の整備について共有が図られました。



## 今回の検討会で共有できた方針

検討会で確認し、共有できた方針を整理すると以下ようになります。これらの方針をもとに、次回以降の検討で議論を深めていきます。

### ◆地区復興まちづくりの方針について

- ・津波に強いまちづくり
- ・安全・安心で快適なまちづくり
- ・楽しく暮らせるにぎわいのあるまちづくり

### ◆土地利用の方針について

- ・国道や避難道路を嵩上げし、居住地の確保を検討する。
- ・高台に住宅地の確保を検討する。
- ・新たな避難所や避難路の整備について考える。
- ・活力やにぎわいを生み出す施設(機能)の整備について考える。
- ・防潮堤機能を持つ国道・避難道路の整備について考える。
- ・高台への避難路の確保・整備について考える(徒歩・自動車)。

